

## 2 個別事業評価調書

団体名： 笠置町

<b>事業名</b>		放課後児童健全育成事業					
<b>事業の概要</b>		近年の夫婦共働き世帯の増加に伴い、児童が学校を終え1人自宅で過ごす家庭が見られます。そんな中、住民から放課後児童クラブ設立の要望があり、平成18年度より事業を実施することとなりました。					
		<b>事業期間</b>	平成18年4月1日～平成19年3月31日(開会平成18年5月～)				
		<b>総事業費</b>	2,288千円	<b>本年度事業費</b>	2,288千円	<b>交付金交付額</b>	940千円
<b>事業評価</b>	<b>事業の必要性</b>	犯罪対象の低年齢化が嘆かれる昨今において、児童が1人で自宅にいることは、保護者が安心して仕事に従事することができない要素となりうります。 また、過疎化が進む当町では若年層の転出が問題となっており、定住化促進のためこの事業の実施する必要があります。					
	<b>事業の有効性</b>	児童が1人自宅で過ごすよりも、集団で活動することにより、より豊かな心身を養い、健やかに育成することができると考えます。					
	<b>事業の効率性</b>	当町には以前保育所が2ヶ所あったのですが、経費削減等の理由により平成17年度に統合し、現在1ヶ所にて実施しています。 そこで、使用しなくなった保育施設を再利用し、放課後児童クラブと地域支援(包括支援)事業をこの施設にて実施しています。					
	<b>具体的な成果</b>	1 府と市町村等との連携に資する成果 (京都府山城地域振興計画記載箇所 ページ 行目)					
		2 住民の自治意識を高める成果 平成18年度から実施することとなった当事業によって、保護者が安心して就労できるようになり、また児童については仲間と楽しく時間を過ごすことができるようになることで、暮らし育った町を日々大切に思うことができると考えます。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果 入会児童数については平成18年度実績が3名、平成19年度当初で6名となっています。 財政としての観点からすると、京都府の補助事業「のびのび育つ」子ども応援事業の要件にも満たない規模の事業で、決して採算性のあるものではありませんが、次世代育成を目的としたこの事業は、過疎化が進む当町にとって、非常に大切な事業であると考えます。							
6 その他の成果							